

ナオリ健保 健康ニュース

今月のテーマ

お財布にも医療現場にも優しい、医療機関の上手なかかり方

紹介状なしでの大病院の受診や、夜間・休日の時間外受診は、医療費の自己負担が高くなることに加えて、医療現場の逼迫^{ひっぱく}を招くことにもつながります。上手な医療のかかり方を確認しましょう。

「診療所」と「中小病院」「大病院」

体調不良やけがの際に受診する医療機関は、大きく「診療所」「中小病院」「大病院」に分けられ、適切な治療をスムーズに受けられるよう、それぞれの機能に応じて役割分担がされています。

- ・診療所（地域の医院やクリニックなど）：日常的な病気、軽度のけがなど
- ・中小病院（地域の中小規模の病院など）：手術や入院が必要な場合、救急医療を要する場合など
- ・大病院（地域医療支援病院、特定機能病院など）：重症の救急医療、高度な医療を要する場合など

上手に医療を受けるポイント

ポイント① 大病院にかかる前に、まずは身近な診療所に

「大きな病院の方が安心だから」と、紹介状もなく大病院を受診すると「特別料金」がかかることがあります。また、重篤な患者や救急医療への対応といった大病院の本来の役割に影響が出ることもあります。軽度な体調不良や緊急性の低い症状のときは、まずは身近な診療所を受診しましょう。

ポイント② 診療時間外の受診は避ける

「平日は忙しくて」などと、診療時間外に受診すると、割増料金が加算されます。夜間や休日は、緊急性の高い患者さんを受け入れるためのものです。診療時間外に受診しようとする際には、通常の診療時間内にかかりつけ医に受診できないか一度考えてみましょう。

ポイント③ かかりつけ医を持つ

かかりつけ医は、健康に関することを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関を紹介してくれる、身近にいて頼りになる医師のことです。風邪などの軽度な体調不良の際にまず受診する診療所で「信頼できる」と感じた医師がいれば、かかりつけ医の候補として考えてみましょう。持病や検診などで定期的に受診する医師がいれば、その医師がかかりつけ医と考えてよいでしょう。かかりつけ医は1人に決める必要はなく、どの診療科の医師でもかかりつけ医になります。かかりつけ医を持つことは、的確な診断、病気の早期発見や早期治療など、健康の維持や増進につながります。

ポイント④ 判断に迷ったときは、電話で相談

（実施時間帯はそれぞれの自治体により異なります）

8 0 0 0 こども医療でんわ相談 夜間や休日の子供の症状に困ったとき

7 1 1 9 救急安心センター事業 救急車を呼ぶか、すぐに病院に行くか迷ったとき（一部地域）